

リニア中央新幹線「京都駅ルート」の実現
に関する要望書

平成25年1月

京都府中央リニアエクスプレス推進協議会

リニア中央新幹線「京都駅ルート」の実現

平素は、京都の発展にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

首都圏、中部圏、近畿圏を1時間で結ぶリニア中央新幹線のルート及び全線開業の時期は、21世紀の我が国の国土軸のあり方に関する極めて重要な国家政策であります。

また、首都圏と近畿圏を結ぶ新たな交通の大動脈として、国民の交流や経済活動の活性化を図る観点から、旅客需要を踏まえた整備が望まれると同時に、旅客需要に対応することで、採算性が向上し、整備促進が図られるものであります。

現在計画されているリニア中央新幹線の名古屋・大阪間のルートについては、昭和48年に決定した基本計画をそのまま踏襲したものであり、利用者便益や経済効果などの比較分析が行われておらず、また、JR東海の経営体力の制約のため、名古屋・大阪間の開業が東京・名古屋間の開業から18年遅れとされているなど、21世紀の我が国の国土軸としての議論が尽くされたものとは言えません。

こうした観点から、当協議会におきましては、行政、議会、経済界はもとより、文化、学術をはじめとする「オール京都」の取組として、その整備効果を最大限に発揮させるため、以下の点について要望いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

1 「京都駅ルート」の実現

- (1) 京都が国際的に果たす重要性、開業後の採算性等をふまえた、名古屋・大阪間のリニアとしての最適ルートの比較検討

2 国家プロジェクトとしての整備推進

- (1) 「リニア中央新幹線」の国家プロジェクトとしての整備及び東京・大阪間の同時開業のための支援
- (2) 国際拠点空港である関西国際空港へのアクセス改善

平成25年1月16日

京都府中央リニアエクスプレス推進協議会

代 表

京都府知事

京都市長

京都府商工会議所連合会会長

山 田 啓 二

門 川 大 作

立 石 義 雄

リニア中央新幹線「京都駅ルート」の実現

○京都駅ルートと現行計画（奈良ルート）



○名古屋駅～新大阪駅のルート比較 (「明日の京都の高速鉄道検討委員会」資料より)

		京都駅ルート		現行計画(奈良ルート)	
路線長		146 km		152 km	
所要時間		25分		22分	
建設費	路線	2.94兆円	3.45兆円	2.70兆円	3.17兆円
	駅	0.51兆円		0.47兆円	
	4駅	3駅			
利用者便益		約2,070億円/年		約1,880億円/年	
事業者便益		約590億円/年		約330億円/年	
経済波及効果		約690億円/年		約650億円/年	

・利用者便益 … 東京・大阪間の利用者の移動時間の短縮効果を1分当たり40円(国土交通省「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル」から算定)として換算したもの

		京都駅ルート	奈良ルート	利用者数(乗降客数)※
短縮 時間	東京～大阪	△ 75分	△ 78分	大阪駅 11,399千人/年
	東京～京都	△ 71分	△ 41分	京都駅 11,831千人/年
	東京～奈良	△ 71分	△ 94分	奈良駅 1,857千人/年
利用者便益		約2,070億円/年	約1,880億円/年	

※平成17年度全国幹線旅客純流動調査

・事業者便益 … 乗客がリニアへシフトすることによる東海道新幹線の削減可能な運行経費